

— 福岡県歯科保険医協会 筑後支部主催 講演会 —

在宅療養高齢者に対する 摂食・嚥下改善について考える ～ 最期までその人らしく生きるために ～

療養高齢者の低下した口腔機能の改善は低栄養や脱水、言語コミュニケーションの喪失などを防ぐだけでなく、「治療や回復への意欲」、さらには「生きる喜び」にも繋がるといわれており、療養高齢者にとっては「最期までその人らしく生きる」ために大変重要な取組みと考えられています。

今回の講演では、①摂食・嚥下の基盤となる口腔機能と全身の機能との関連について、②療養高齢者の低下した摂食・嚥下機能の改善に取り組むために、歯科職以外の医療・介護・福祉などに携わる専門職との連携・協働がなぜ必要となるのか、③在宅事例などを交えて摂食・嚥下機能の改善方法についての考え方と取組みについて紹介させて頂くことにしており、在宅療養高齢者の摂食・嚥下機能の改善について先生方とともに考えてみたいと思います。



【ご略歴】

1978年：九州歯科大学大学院卒業後、九州歯科大学附属病院（第二口腔外科）
1987年：久保歯科医院開業
2009年～2016年：北九州病院北九州中央病院口腔リハビリ指導医
2013年～：北九州在宅医療・介護塾を創立（塾長）
2014年～：福岡県立大学看護学部 特別講義講師
現在：NPO法人老いを支える北九州家族の会 副理事長
福岡県歯科保険医協会 副会長（担当：地域医療対策部会）
地域貢献として、地域包括ケアシステムの中で歯科医療の必要性を理解して戴くために、「歯・口」と「全身」をテーマにして、社会福祉協議会との連携による認知症や介護予防講座、病院や施設のスタッフに対する口腔ケア講座などで講演活動を行っている。

【講師】 **久保哲郎 先生** 福岡県歯科保険医協会 地域医療対策部会 部長

【日時】 **8月24日(土) 18時～20時**

【会場】 久留米シティプラザ 大会議室
(久留米市六ツ門8-1 TEL: 0942-36-3000)

【定員】 50名 【会費】 **会員、スタッフ無料**
協会未入会の方はぜひご入会下さい

返信先 **FAX: 092-473-7182**



会員氏名： _____ 参加人数： 歯科医師 _____ 人 歯科衛生士 _____ 人 スタッフ _____ 人

医療機関名： _____ TEL： _____